

新中総第128号
令和4年5月26日

中央区自治協議会委員 各位

中 央 区 長

令和3年度中央区組織目標の取組結果及び
令和4年度中央区組織目標について（報告）

標記について、別紙のとおりご報告いたします。併せて選出母体等にお伝えくださいますようお願いいたします。

担当：中央区総務課課長補佐 堀川桃子
TEL025-223-1000 内線 37060

令和3年度 中央区組織目標

組織名	中央区	部長	中央区長 日根 秀康
<p>組織の目的・方向性の実現に向け、中央区は次の4つの取り組みを重点的に実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 魅力的で活力あふれる拠点のまちを目指します。 2 安心してすこやかに暮らせるまちを目指します。 3 水と緑が調和したやすらぎのあるまちを目指します。 4 未来につなぐ歴史・文化のまちを目指します。 			

※個別の事業の取組状況や指標は、3ページ以降をご覧ください。

取組結果 (●は特色ある区づくり事業)	
<p>1 魅力的で活力あふれる拠点のまちを目指します。</p> <p>○区の魅力を再発見してもらう情報発信 (地域課) ●まちなか発にぎわいプロジェクト (総務課)</p>	<p>2 安心してすこやかに暮らせるまちを目指します。</p> <p>●しもまち地域活性化事業 (地域課) ●レッツトライ! 糖尿病予防事業 (健康福祉課) ●みんなでつながる にっこにこ子育て応援事業 (健康福祉課) ●赤ちゃん誕生お祝い会支援事業 (健康福祉課) ●話そう・つなごう・あなたの想い 終活きっかけ作り事業 (健康福祉課) ●防犯人材育成・地域づくり事業 (総務課) ●犯罪のない地域づくり事業 (総務課) ○生活保護受給者の特定検診受診率向上 (保護課) ○地域にとって身近で頼れる出張所 (東・南出張所)</p>
<p>3 水と緑が調和したやすらぎのあるまちを目指します。</p> <p>●鳥屋野潟環境啓発事業「とやの物語」(窓口サービス課) ●区民協働森づくり事業 (建設課) ○松くい虫防除事業 (建設課)</p>	<p>4 未来につなぐ歴史・文化のまちを目指します。</p> <p>●地域のお宝! 再発見事業 (地域課) ●みなとまち新潟 伝統的産業PR事業 (地域課)</p>

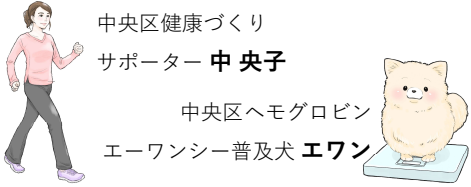
令和3年度 中央区組織目標の評価（取組結果）

1 魅力的で活力あふれる拠点のまちを目指します。

No.	担当課	組織目標	主な取組（事業）	指標		
				項目（単位）	R3目標	R3結果
1	総務課	まちなかを活性化させるため、古町のにぎわい創出に取り組みます。	・地域や民間の方々の情報発信の場としてNEXT21アトリウムを活用してもらうためのPRや催事	アンケート調査によるイベント満足度	80%	未実施
				イベント開催数	5回	3回

2 安心してすこやかに暮らせるまちを目指します。

No.	担当課	組織目標	主な取組（事業）	指標		
				項目（単位）	R3目標	R3結果
1	地域課	人口減少、高齢化が進行するしもまち地域において賑わいを創出するため、地域資源を編集・発信し、若者層への認知拡大を図ります。	・しもまち地域活性化事業	WEBコンテンツの年間再生数	27万回	28.2万回
				フィールドワークイベント（マルシェやまち歩き）への参加者数	3,700人	3,700人
2	窓口サービス課	窓口サービス提供における市民満足度の向上を図ります。	・窓口アンケート	窓口アンケートの平均点（5点満点、7項目）	4.47点	4.6点

No.	担当課	組織目標	主な取組（事業）	指標		
				項目（単位）	R3目標	R3結果
3	健康福祉課	<p>健康寿命延伸にむけて、特定健診の受診率の向上（全市目標受診率：53%，中央区のR1受診率：35.5%）及び糖尿病予防に取り組みます。</p>  <p>中央区健康づくり サポーター 中央子 中央区ヘモグロビン エーワンシー普及犬 エワン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校を通じた保護者への受診勧奨 ・糖尿病予防セミナー ・専門職を派遣した健康講座 ・まんがキャラクター「中央区の健康づくりサポーター中央子（なかちかこ）」等を活用した受診勧奨及び糖尿病予防啓発 	実施校数（中央区全19校中）	19校	19校
				「糖尿病予防セミナー」参加者のうち、HbA1cや疾病について理解できた割合	90%	97.7%
				「健康講座」参加者のうち、HbA1cについて理解できた割合	90%	98.8%
				まんがキャラクターの活用回数	30回	55回
4	健康福祉課	<p>子育ての不安、負担の軽減を図るため、学習機会の提供や仲間づくりを支援するとともに、児童虐待防止に向け、関係機関と協働で啓発活動を行います。</p>	<p>「みんなでつながるにっこにこ子育て応援事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊カフェ・育カフェ・育ぱる ・10か月育ちの講座 ・妊婦オンライン個別相談 ・子育てネットワーク会議、産科との連携会議 	「妊カフェ」「育カフェ」「育ぱる」参加後に育児不安が軽減した参加者の割合	85%	妊カフェ 96.0% 育カフェ 96.6% 育ぱる 98.2%
				「10か月育ちの講座」参加者の、10か月の発達や今後の発達の見通しについて理解できた割合	85%	発達 99.5% 関わり方 99.0% 見通し 99.0%
			・関係機関職員や保護者等を対象とした児童福祉に係る啓発	啓発（研修・講座・会議等）の実施回数	10回	13回

No.	担当課	組織目標	主な取組（事業）	指標		
				項目（単位）	R3目標	R3結果
5	保護課	生活保護世帯の就労意欲の向上を図り、就労に結び付けていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・受給者の事業への参加 ・就労支援相談員との連携 ・ハローワーク職員との連携 	就労自立支援事業の参加者数	200人	225人
				就労自立支援事業での支援対象者から就労を開始した人数	134人	184人
6	保護課	生活保護世帯（生活困窮者世帯及びひとり親世帯を含む）の中学生の学習習慣を定着させ、学力向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・「子ども勉強会」の開催 ・学習支援員による家庭訪問や個別相談の実施 	子ども勉強会への出席率	50%	48%
				学習支援員による家庭訪問や個別相談の実施回数	15回	27回
7	総務課	避難所運営訓練を通じ、中学生、地域、防災士の連携を強化します。	・中央区ハイパージュニアレスキュー訓練	参加後に「防災資機材の取り扱いを他の人に説明できる」と答えた生徒の割合	90%	90.1%

3 水と緑が調和したやすらぎのあるまちを目指します。

No.	担当課	組織目標	主な取組（事業）	指標		
				項目（単位）	R3目標	R3結果
1	建設課	西海岸公園における松くい虫被害の収束を図るため、対策に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・被害木の伐倒燻蒸の実施 ・薬剤の空中散布及び地上散布の実施 	R2年度調査での被害木の本数に対して、R3年5月末に処理した本数の割合	100%	100%
2	建設課	西海岸公園の海岸林がもつ防風機能などの役割や重要性を周知し、海浜植物園周辺に区民と協働でクロマツの植樹を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽計画作成 全体N=4,900本 ・植栽本数 N=500本 ・協議会の実施 	植樹・除伐の参加人数	200人	299人
				クロマツの植樹	500本	500本

4 未来につなぐ歴史・文化のまちを目指します。

No.	担当課	組織目標	主な取組（事業）	指標		
				項目（単位）	R3目標	R3結果
1	地域課	中央区の伝統的産業である「新潟漆器」「発酵食」「古町芸妓」についての認知度向上や産業的観点からの利用促進に取り組むことで、産業の振興を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟漆器利用促進事業 ・発酵食PR事業 ・料亭の味と芸妓の舞 ・古町芸妓によるPR事業 	「新潟漆器」利用店舗のリース終了後 買取率（%）	80%	60%
				区内発酵食を使用した給食実施校への アンケートで「中央区の伝統的産業に 発酵食があることを知り、興味を持っ た」と回答した児童の割合	80%	87.3%
				古町芸妓事業への30代以下の参加割合	10%	7.70%

組織目標管理シート

年度	令和3年度		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	地域課
組織の目的	地域づくりのパートナーであるコミュニティ協議会の活性化を図り、協働することにより、安心してすこやかに暮らせるまちの実現を目指すとともに、歴史や文化など区の魅力を再発見してもらい、シビックプライドの涵養を図ります。		

問合せ先(電話番号)	025-223-7023(地域課)
------------	-------------------

作成日	R3.4.1
修正日	
評価日	R4.3.31

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標	R3結果		
1		コミュニティ協議会と協働して地域課題の解決に取り組みます。	・コミュニティ協議会との意見交換の実施 ・地域活動補助金による活動支援	意見交換を行うコミュニティ協議会数(件)	13	10	4	22	22	・地域活動補助金件数については、コロナウイルスの影響により、令和3年度も引き続き大規模な活動は自粛が見込まれることから、目標値をR2年度実績並に設定し、安全な活動の継続を支援します。	達成
2		人口減少、高齢化が進行するしもまち地域において賑わいを創出するため、地域資源を編集・発信し、若者層への認知拡大を図ります。	・しもまち地域活性化事業	WEBコンテンツの年間再生数(回)	-	-	270,000	270,000	282,000	・各種イベントの告知を中心にInstagram、LINEなどのSNSや「はじめて、しもまち」公式HPを活用し、適時情報発信した結果、目標を上回る結果となり、しもまち地域の認知拡大に寄与した。 ・コロナ禍により、一部イベントについて内容を変更・縮小するなどの対応が必要となったが、上記のSNSや区だより等、多様な媒体を活用し広報した結果、多くの方に参加いただき、地域の賑わいの創出につなげることができた。	達成
				フィールドワークイベント(マルシェやまち歩き)への参加者数(人)	-	-	2,100	3,700	3,700		
3		幅広い年齢層の方に中央区の地域資源に関心を持ち、区の魅力を再発見してもらえよう、SNSを活用した情報発信やフォトコンテストを実施します。	・区公式Instagramの更新 ・Instagramを活用したフォトコンテストの実施	中央区の魅力を伝える写真(情報)の投稿数(件)	-	-	-	100	102	・区公式Instagramに年間102件の投稿を行い、当初の目標を達成した。おすすめスポットやイベント情報などを掲載し、中央区の魅力を広げ発信することができた。 ・「水辺のまち中央区」をテーマにフォトコンテストを実施した。コロナの影響で年1回の開催となったが、1カ月で730件の幅広い年齢層からの応募があり、当初の目標を達成した。さらに、応募作品を活用した中央区カレンダーを作成・配布し、中央区の魅力発信に努めた。	達成
				フォトコンテストへの年間応募数(件)	-	-	-	400	730		
4		中央区の伝統的産業である「新潟漆器」「発酵食」「古町芸妓」についての認知度向上や産業的観点からの利用促進に取り組むことで、産業の振興を図ります。	・新潟漆器利用促進事業 ・発酵食PR事業 ・料亭の味と芸妓の舞 ・古町芸妓によるPR事業	「新潟漆器」利用店舗のリース終了後買取率(%)	-	52	78.9	80	60	・新潟漆器:コロナ禍で経営状況の悪化により買取りを断念した店舗があったため目標達成に至らなかった。 ・発酵食:給食提供に合わせて発酵食産業PR冊子を配布した。アンケートの結果、「地域で作られた発酵食についてもっと知りたい」と思っ「児童の割合が87.3%で当初の目標を達成し、発酵食の認知度の向上につなげることができた。 ・古町芸妓:「料亭の味と芸妓の舞」については、通常の会期に加えて若者限定の回を開催する予定だったが、コロナの影響により全会期中止となった。「古町芸妓お昼の舞スペシャル」では30代以下の招待席を設けたが、コロナの影響で10月開催時は学生が欠席、2月は開催を中止したため目標達成に至らなかった。	一部未達成
				区内発酵食を使用した給食実施校の児童へのアンケート結果で「中央区の伝統的産業に発酵食があることを知り、興味を持った」と回答した人の割合(%)	-	-	-	80	87.3		
				古町芸妓事業への30代以下の参加割合(%)	6.4	7.9	1.6	10	7.7		

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容や評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>コミュニティ協議会が行う地域課題解決への取り組みを促し支援することで、コミュニティ協議会の活性化を図ります。</p> <p>人口減少、高齢化が進行するしもまち地域の知られざる地域魅力を発信し、若者層への認知・交流を拡大することで、地域の賑わいを創出します。</p> <p>幅広い年齢層の方に中央区の地域資源に関心を持ち、区の魅力を再発見してもらえよう、SNSを活用した情報発信やフォトコンテストを実施します。</p> <p>伝統的産業への取り組みについては、切り口を変えながら、魅力再発見の場を提供し続けることで、認知度を上げ、消費に繋がっていく取り組みを行います。</p> <p>未利用公共用地は財産経営推進計画に基づき原則売却することとし、地域の活性化並びに財源の確保に努めていきます。</p>	<p>コミュニティ協議会の活動支援については、補助金交付による活動経費の支援に加え、感染症対策用品の配布や研修会の開催等によりコロナ禍における活動継続を支援しました。今後も引き続き、補助金等の交付や相談業務を通して、コミュニティ協議会が行う地域課題解決のための取り組みを支援していきます。</p> <p>しもまち活性化事業については、引き続きSNS等を活用したしもまちの魅力の発信を行いました。加えて、現地でのイベントでは地域の商店や観光スポットを巡るスタンプラリーの実施や、地域に届く企業と商店のコロナ商品販売するなど、しもまちの魅力を肌で感じてもらえる様々な企画を実施しました。来年度もこれまで発掘してきたしもまちの魅力を、若い世代を中心に認識してもらい、地域への人の流れを定着させるよう地域と連携して取り組みます。</p> <p>Instagramの更新については、おすすめスポットやイベント情報など、写真を中心に週2回以上の投稿を行い、区の魅力発信に取り組まれました。また、Instagramを活用し「水辺のまち中央区」をテーマに開催したフォトコンテストには多数の応募があり、多くの市民・区民の方から中央区の魅力を再発見してもらうことができました。来年度は新たに中央区PR動画の作成を行うなど、引き続き区の魅力発信に努めていきます。</p> <p>伝統的産業の振興は「新潟漆器」「発酵食」「古町芸妓」について取り組み、新型コロナウイルスの影響により料亭の味と芸妓の舞は中止しましたが、区内発酵食を使用した給食提供や古町芸妓PR事業を開催しPRすることができました。来年度も感染症対策を徹底し、関係者と効果的な手法を検討しながら認知度向上や消費に繋がるよう引き続き伝統的産業の振興を図っていきます。</p> <p>未利用公共用地については、旧白山浦庁舎及び旧北部総合コミュニティセンターを条件付き一般競争入札により売却し、地域要望の実現と市の財源確保を図りました。旧大畑少年センターは公募不調となったため、来年度改めて公募を実施し、利活用がなされる様、引き続き取り組んでいきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-223-7106(窓口サービス課)

年度	令和3年度		
組織名(部)	中央区	組織名(準部・課・機関名)	窓口サービス課
組織の目的	窓口・業務改善活動を推進し、親切・丁寧・迅速・正確な窓口サービスに努め、市民の満足度を向上させます。		

作成日	R3.4.1
修正日	
評価日	R4.3.31

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					R3結果	補足・参考指標	目標達成状況	評価
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標				
1		窓口サービス提供における市民満足度の向上を図ります。	・窓口アンケートの実施	窓口アンケートの平均点	4.42	4.53	4.47	4.47	4.60	・制度の見直しにより、令和2年度からアンケート1回の点数(5点満点)	アンケートの設問7項目すべてにおいて過去3年間で最高の評価となり、目標を達成することができました。	達成
2		職員の業務能力の向上を図ります。	・本課や課内で実施する研修の受講ほか	具体的な業務知識の習得を目的とした研修会等の受講者数		664	318	320	360	・1人あたり2回以上の研修等を受講	各自が業務知識の習得や窓口対応能力向上を意識して取り組んだ結果、目標を達成することができました。 課内で研修班を起ち上げ、各係の業務に関する研修のほか、社会的関心が高まっているSDGs研修を開催するなど多様な研修機会を提供して業務能力の向上を図りました。	達成
3		窓口・業務改善活動を推進します。	・各係と改善チーム等がそれぞれ3件以上の改善を実施	改善件数	25	30	27	27	37	・窓口サービスの向上を目指し、更なる業務改善の実施	各係及び改善WGで市民サービスと業務能力向上向上のため改善に取り組んだ結果、目標を上回る37件の改善を実施することができました。 庁内チャットを用いることにより窓口間の連携が取りやすくなったことや感染防止対策の強化をもくとして、コロナ消毒ルールを作成、実践して市民が安心して利用することができる窓口環境の整備を図りました。	達成
4		繁忙期における窓口の混雑緩和を図ります。	・広報の拡充 ・混雑状況インターネット配信 ・窓口間の連携、支援の推進	住民異動届の繁忙期間中(令和4年3月)、最大待ち時間が30分を超える日数	6	6	2	2	2		令和4年3月における最大待ち時間が30分を超えた日は28日(月)と31日(木)の2日となり、特に混雑する日を強調したチラシの配布や混雑状況のインターネット配信が浸透して、目標を達成することができました。	達成
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>窓口職場として「市民満足度の向上」を目的に、「市民の視点」を重視して目標設定を行ないました。</p> <p>窓口アンケートや意見箱等により市民ニーズの把握に努め、窓口・業務改善活動を推進し、窓口サービスの向上を図ります。</p> <p>窓口のさらなる利便性向上のため業務処理能力や接遇のスキルアップに取り組めます。</p> <p>住民異動届の繁忙期の混雑緩和を図るため、広報の拡充や効果的な業務連携、支援を推進します。</p>	<p>窓口アンケートにおいては、派遣職員の業務能力が向上したことや様々な課内研修の実施などにより、全項目の平均点が4.60となり、目標を達成しました。今後も引き続き、相手の立場に立った親切・丁寧な対応に努め、市民の皆様にご満足いただける区役所を目指します。</p> <p>窓口・業務改善活動では、目標件数を上回ったことに加え、庁内チャットを用いることにより窓口間の連携が取りやすくなったことや感染防止対策の強化として、コロナ消毒ルールを作成、実践して市民が安心して利用することができる窓口環境の整備を図りました。</p> <p>また、各係及び改善ワーキンググループで業務効率化や窓口対応能力向上などを目的とした改善を実施しました。</p> <p>フロア2層という特性を踏まえ、職員の業務能力向上を図り、改善活動を推進することにより、窓口対応を充実させ、市民サービスの向上を目指します。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-223-7252(健康福祉課)

年度	令和3年度		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	健康福祉課
組織の目的	一人ひとりがお互いに支えあい・助けあい、誰もが安心して心豊かに暮らせる地域づくりを推進します。		

作成日	R3.4.1
修正日	
評価日	R4.3.31

No.	部 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標			R3結果	補足・参考指標
1			「話そう・つながろう・あなたの想い終活きっかけ作り事業」 ・もしもの時のために、自身が望む医療やケアについて元気な時から考え、意思表示することの重要性について、専門職研修や区民啓発を実施	意思表示の重要性について理解した人の割合		98.3%	95.7%	90%	94.3%	アンケートによる「十分理解できた」「理解できた」の回答数 199 / 総有効回答数211 ・専門職研修2回(理解度100%) ・地域別人生会議11回(理解度93.8%)	・専門職研修は、新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインで開催した。Zoomによる講演、意見交換と動画配信を行い、延べ95人受講した。 ・地域別人生会議は、3つの地域保健福祉センター管内で各3~4回、「地域の茶の間」などの地域の集いの場で開催し、計211人が参加。	達成
			・赤ちゃん誕生お祝い会の開催を支援	赤ちゃん誕生お祝い会が今度の地域との交流のきっかけとなった人の割合	87.3%	97.1%	87.5%	85%	100%	開催団体数(参加者赤ちゃん数) H30 8団体(116人) R1 7団体(100人) R2 6団体(58人) R3 5団体(87人)	・アンケートは、会場形式で実施した団体の参加者に実施した結果(2団体14人) ・自由記載欄には、コロナ禍の中で地域の方やほかの子育て世帯とつながるきっかけを喜ぶ声が多く寄せられた。	達成
2		健康寿命延伸にむけて、特定健診の受診率の向上(全市目標受診率:53%、中央区のR1受診率:35.5%)及び糖尿病予防に取り組みます。	・小学校を通じ保護者へ受診勧奨を実施 ・糖尿病予防セミナーの開催 ・専門職を派遣した健康講座の実施	実施校数		1,981	500	19校(中央区全校)	19校(中央区全校)	学校を通じ小学6年生保護者へ受診勧奨を実施(公立18校、附属1校) ※R1~2実績は受診勧奨人数	小学校19校(公立18校、附属1校)の6年生の保護者へ受診勧奨と生活習慣病予防の啓発を実施した。	達成
			・まんがキャラクター「中央区の健康づくりリポーター中 央子(なか ちかこ)」等を活用した受診勧奨及び糖尿病予防啓発	・糖尿病予防セミナー参加者のHbA1c・疾病について理解できた割合		98.7%	98.0%	90%	97.7%	セミナー全会期(3回)でアンケート実施	糖尿病予防セミナー参加者46人中、43人からアンケートを回収。HbA1c・疾病それぞれについて「よく理解した」「理解した」が97.7%になり、高い理解度になった。	達成
				・健康講座参加者HbA1cについて理解できた割合				90%	98.8%	センター管内各1回	3団体にセミナーを行い、アンケートは81人から回収。80人がよくわかった・わかったと回答した(98.8%)。	達成
				・まんがキャラクター「中央区の健康づくりリポーター中 央子(なか ちかこ)」等の活用回数	23回	33回	30回	55回	まんがキャラクター「中央区の健康づくりリポーター中 央子(なか ちかこ)」等の活用	係、各センター合わせ、55回活用。昨年よりコミ協や自治会等での活用、積極的にチラシに掲載する等地区活動の中で多く活用した。	達成	
3		子育ての不安、負担の軽減を図るため、学習機会の提供や仲間づくりを支援するとともに、児童虐待防止に向け、関係機関と協働で啓発活動を行います。	「みんなてつながる」にこにこ子育て応援事業」 ・妊カフ・育カフ・育ばる ・10か月育ちの講座 ・妊婦オンライン個別相談 ・子育てネットワーク会議、産科との連携会議の開催	・妊カフ・育カフ・育ばる参加者の参加後に育児不安が軽減した割合	妊カフ93.0% 育カフ93.1% 育ばる84.5%	妊カフ90.2% 育カフ91.9% 育ばる85.7%	85%	妊カフ96.0% 育カフ96.6% 育ばる98.2%	会場とオンライン同時開催	感染対策をとり会場やオンラインで開催、3講座とも専門職への相談や仲間づくりを通じ、参加者の育児不安を軽減した。	達成	
				・10か月育ちの講座参加者の10か月の発達・今後の発達の見通しについて理解できた割合	100%	100%	85%	発達99.5% 関わり方99.0% 見通し99.0%	会場とオンライン同時開催	感染対策をとり会場やオンラインで開催、専門職への相談や仲間づくり、児の成長・発達や関わり方を学ぶ講座を通じ、参加者の育児不安を軽減した。	達成	
			・関係機関職員や児童保護者等を対象とした児童福祉に係る啓発活動の実施(研修・講座・会議等)	・啓発活動の実施回数		11	10	10	13	関係機関職員、児童保護者、市職員等を対象に、児童虐待防止や児童福祉に係る啓発活動を実施	主任児童委員や障がいサービス事業者、児童虐待対応関係機関等に、児童虐待防止や要保護児童対策地域協議会に関する研修を6回開催した。また、関係機関の7施設を訪問し、啓発活動を行った。	達成
4		市民の視点で業務改善を推進し、市民サービスの向上に取り組みます。	・6つの係がそれぞれ3件以上の改善を実施	・窓口業務にかかる改善件数	21	30	38	18	29	庶務関係書類の管理方法の変更、窓口職員への業務研修、業務マニュアルの見直しを行った。	達成	

取組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>誰もが住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らせる地域づくりを目指し、引き続き地域住民が主体となった支え合い・助け合い活動を支援します。</p> <p>高齢者をはじめ誰もが事前に自らが意思表示する医療やケアを人生の最期まで受けられ安心して暮らし続けられるため、意思表示することの大切さについて地域住民へ伝えることができる人材を育成するためアマネジャーなどの専門職対象の研修会や区民啓発を関係機関と協働実施します。また、地域で開催する赤ちゃん誕生お祝い会を支援し、赤ちゃん誕生を機に、地域の子育て中のママ・パパ(同士だけでなくそのほかの地域住民と)の多世代の交流を深めます。</p> <p>健康寿命延伸にむけて、特定健診の受診勧奨の実施、糖尿病予防セミナー、健康講座を開催します。また、まんがキャラクター「中央区健康づくりリポーター中 央子(なか ちかこ)」等を活用した受診勧奨及び糖尿病予防啓発に取り組みます。</p> <p>保護者の子育ての不安を軽減し孤立化を防ぐため、妊娠前から乳児期に安心して子育てができる体制づくり及び保健師・助産師などの専門職による切れ目のない支援を地域の子育て支援施設や医療機関と連携・協働して行います。新たに、妊婦オンライン個別相談を実施するとともに、事業へ参加できない方へ専用サイトによるの情報発信を継続します。また、関係機関職員や児童保護者等を対象とした児童虐待防止や児童福祉に係る子育て支援啓発活動を実施します。</p>	<p>「はなそう・つながろう・あなたの想い終活きっかけ作り事業」では、自らが希望する医療やケアについて元気なときから考え、意思表示することの大切さについて地域住民に伝えることのできる人材の育成のための専門職研修を開催するとともに、実際に人生会議を実施するときの講師向け手引きを作成し、関係機関と協働して区民への啓発に取り組みました。</p> <p>・特定健診受診率向上では、学校を通して小学6年生保護者へ受診勧奨と生活習慣病予防の啓発を行いました。来年度も学校と連携し、引き続き受診勧奨に取り組みます。</p> <p>・区の健康課題である糖尿病予防については、血糖所見者を対象とした「糖尿病予防セミナー」や、コミュニティ協議会に専門職を派遣した「レットトライ糖! 尿病予防」セミナーの開催、まんがキャラクターを活用したオリジナルまんが等による普及啓発を行い、糖尿病予防やHbA1cの理解を図ることができました。来年度も引き続き関係機関と連携し、糖尿病予防の普及啓発を行います。</p> <p>・「みんなてつながる」にこにこ子育て応援事業」は、感染対策をとりオンラインや会場で開催し、専門職への相談や仲間づくり、児の成長・発達や関わり方を学ぶ講座を通じ、参加者の育児不安を軽減することができました。来年度は、妊婦への支援強化として妊カフエを2回1コースとし、2回目はパートナーも参加しやすい土曜開催とする予定です。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-223-7252(健康福祉課)

年度	令和3年度		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	健康福祉課
組織の目的	一人ひとりがお互いに支えあい・助けあい、誰もが安心して心豊かに暮らせる地域づくりを推進します。		

作成日	R3.4.1
修正日	
評価日	R4.3.31

No.	部 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価			
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標			R3結果	補足・参考指標	
1			「話そう・つながろう・あなたの想い終活きっかけ作り事業」 ・もしもの時のために、自身が望む医療やケアについて元気な時から考え、意思表示することの重要性について、専門職研修や区民啓発を実施	意思表示の重要性について理解した人の割合		98.3%	95.7%	90%	94.3%	アンケートによる「十分理解できた」「理解できた」の回答数 199 / 総有効回答数211 ・専門職研修2回(理解度100%) ・地域別人生会議11回(理解度93.8%)	・専門職研修は、新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインで開催した。Zoomによる講演、意見交換と動画配信を行い、延べ95人受講した。 ・地域別人生会議は、3つの地域保健福祉センター管内で各3~4回、「地域の茶の間」などの地域の集いの場で開催し、計211人が参加。	達成	
			・赤ちゃん誕生お祝い会の開催を支援	赤ちゃん誕生お祝い会が今年度の地域との交流のきっかけとなった人の割合	87.3%	97.1%	87.5%	85%	100%	開催団体数(参加者赤ちゃん数) H30 8団体(116人) R1 7団体(100人) R2 6団体(58人) R3 5団体(87人)	・アンケートは、会場形式で実施した団体の参加者に実施した結果(2団体14人) ・自由記載欄には、コロナ禍の中で地域の方やほかの子育て世帯とつながるきっかけを喜ぶ声が多く寄せられた。	達成	
2		健康寿命延伸にむけて、特定健診の受診率の向上(全市目標受診率:53%、中央区のR1受診率:35.5%)及び糖尿病予防に取り組みます。	・小学校を通じ保護者へ受診勧奨を実施 ・糖尿病予防セミナーの開催 ・専門職を派遣した健康講座の実施	実施校数		1,981	500	19校(中央区全校)	19校(中央区全校)	学校を通じ小学6年生保護者へ受診勧奨を実施(公立18校、附属1校) ※R1~2実績は受診勧奨人数	小学校19校(公立18校、附属1校)の6年生の保護者へ受診勧奨と生活習慣病予防の啓発を実施した。	達成	
			・まんがキャラクター「中央区の健康づくりリポーター-中央子(なかちかこ)」等を活用した受診勧奨及び糖尿病予防啓発	・糖尿病予防セミナー参加者のHbA1c・疾病について理解できた割合		98.7%	98.0%	90%	97.7%	セミナー全会期(3回)でアンケート実施	糖尿病予防セミナー参加者46人中、43人からアンケートを回収。HbA1c・疾病それぞれについて「よく理解した」「理解した」が97.7%になり、高い理解度になった。	達成	
				・健康講座参加者HbA1cについて理解できた割合				90%	98.8%	センター管内各1回	3団体にセミナーを行い、アンケートは81人から回収。80人がよくわかった・わかったと回答した(98.8%)。	3団体にセミナーを行い、アンケートは81人から回収。80人がよくわかった・わかったと回答した(98.8%)。	達成
				・まんがキャラクター「中央区の健康づくりリポーター-中央子(なかちかこ)」等の活用回数	23回	33回	30回	55回	まんがキャラクター「中央区の健康づくりリポーター-中央子(なかちかこ)」等の活用	係、各センター合わせ、55回活用。昨年よりコミ協や自治会等での活用、積極的にチラシに掲載する等地区活動の中で多く活用した。	達成		
3		子育ての不安、負担の軽減を図るため、学習機会の提供や仲間づくりを支援するとともに、児童虐待防止に向け、関係機関と協働で啓発活動を行います。	「みんなてつながる」にこにこ子育て応援事業」 ・妊カフ・育カフ・育ばる ・10か月育ちの講座 ・妊婦オンライン個別相談 ・子育てネットワーク会議、産科との連携会議の開催	・妊カフ・育カフ・育ばる参加者の参加後に育児不安が軽減した割合	妊カフ93.0% 育カフ93.1% 育ばる84.5%	妊カフ90.2% 育カフ91.9% 育ばる85.7%	85%	妊カフ96.0% 育カフ96.6% 育ばる98.2%	会場とオンライン同時開催	感染対策をとり会場やオンラインで開催、3講座とも専門職への相談や仲間づくりを通じ、参加者の育児不安を軽減した。	達成		
				・10か月育ちの講座参加者の10か月の発達・今後の発達の見通しについて理解できた割合	100%	100%	85%	発達99.5% 関わり方99.0% 見通し99.0%	会場とオンライン同時開催	感染対策をとり会場やオンラインで開催、専門職への相談や仲間づくり、児の成長・発達や関わり方を学ぶ講座を通じ、参加者の育児不安を軽減した。	達成		
			・関係機関職員や児童保護者等を対象とした児童福祉に係る啓発活動の実施(研修・講座・会議等)	・啓発活動の実施回数	11	10	10	13	関係機関職員、児童保護者、市職員等を対象に、児童虐待防止や児童福祉に係る啓発活動を実施	主任児童委員や障がいサービス事業者、児童虐待対応関係機関等に、児童虐待防止や要保護児童対策地域協議会に関する研修を6回開催した。また、関係機関の7施設を訪問し、啓発活動を行った。	達成		
4		市民の視点で業務改善を推進し、市民サービスの向上に取り組みます。	・6つの係がそれぞれ3件以上の改善を実施	・窓口業務にかかる改善件数	21	30	38	18	29	庶務関係書類の管理方法の変更、窓口職員への業務研修、業務マニュアルの見直しを行った。	達成		

取組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>誰もが住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らせる地域づくりを目指し、引き続き地域住民が主体となった支え合い・助け合い活動を支援します。</p> <p>高齢者をはじめ誰もが事前に自らが意思表示する医療やケアを人生の最期まで受けられ安心して暮らし続けられるため、意思表示することの大切さについて地域住民へ伝えることができる人材を育成するためアマネジャーなどの専門職対象の研修会や区民啓発を関係機関と協働実施します。また、地域で開催する赤ちゃん誕生お祝い会を支援し、赤ちゃん誕生を機に、地域の子育て中のママ・パパ(同士だけでなくそのほかの地域住民との多世代の交流を深めます。</p> <p>健康寿命延伸にむけて、特定健診の受診勧奨の実施、糖尿病予防セミナー、健康講座を開催します。また、まんがキャラクター「中央区健康づくりリポーター-中央子(なかちかこ)」等を活用した受診勧奨及び糖尿病予防啓発に取り組みます。</p> <p>保護者の子育ての不安を軽減し孤立化を防ぐため、妊娠前から乳児期に安心して子育てができる体制づくり及び保健師・助産師などの専門職による切れ目のない支援を地域の子育て支援施設や医療機関と連携・協働して行います。新たに、妊婦オンライン個別相談を実施するとともに、事業へ参加できない方へ専用サイトによるの情報発信を継続します。また、関係機関職員や児童保護者等を対象とした児童虐待防止や児童福祉に係る子育て支援啓発活動を実施します。</p>	<p>「はなそう・つながろう・あなたの想い終活きっかけ作り事業」では、自らが希望する医療やケアについて元気なときから考え、意思表示することの大切さについて地域住民に伝えることのできる人材の育成のための専門職研修を開催するとともに、実際に人生会議を実施するときの講師向け手引きを作成し、関係機関と協働して区民への啓発に取り組みました。</p> <p>・特定健診受診率向上では、学校を通して小学6年生保護者へ受診勧奨と生活習慣病予防の啓発を行いました。来年度も学校と連携し、引き続き受診勧奨に取り組みます。</p> <p>・区の健康課題である糖尿病予防については、血糖所見者を対象とした「糖尿病予防セミナー」や、コミュニティ協議会に専門職を派遣した「レットトライ糖! 尿病予防」セミナーの開催、まんがキャラクターを活用したオリジナルまんが等による普及啓発を行い、糖尿病予防やHbA1cの理解を図ることができました。来年度も引き続き関係機関と連携し、糖尿病予防の普及啓発を行います。</p> <p>・「みんなてつながる」にこにこ子育て応援事業」は、感染対策をとりオンラインや会場で開催し、専門職への相談や仲間づくり、児の成長・発達や関わり方を学ぶ講座を通じ、参加者の育児不安を軽減することができました。来年度は、妊婦への支援強化として妊カフエを2回1コースとし、2回目はパートナーも参加しやすい土曜日開催とする予定です。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 南地域保健福祉センター(025-285-2373)

年度	令和3年度		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	南地域保健福祉センター
組織の目的	一人ひとりが互いに支えあい・助けあい、誰もが安心して心豊かに暮らせる地域づくりを推進します。		

作成日	R3.4.1
修正日	
評価日	R4.3.31

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標			R3結果	補足・参考指標
1		だれもがいつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるよう、高齢者世帯や子育て世代、障がいのある方など支援が必要な方に対して、地域が一体となって支え合い、共に生きていける環境づくりを進めます。	「話そう・つなごう・あなたの想い終活きっかけ作り事業」 ・もしもの時の医療やケアを元氣な時から考え繰り返し話し合うことの大切さについて区民へ周知するため、茶の間等で人生会議を実施します。	研修会「地域別人生会議」の意思表示の重要性を理解した人の割合	-	98.5%	96.2%	85%	96.2%	・地域別人生会議をセンター管内で2回実施	・4か所の地域の茶の間で、地域別人生会議を実施した。参加者の実施後のアンケートから、意思表示の重要性を理解した人の割合は目標を達成できた。 地域別人生会議:4か所実施、84人参加	達成
2		健康寿命延伸にむけて、特定健診の受診率の向上及び糖尿病予防に取り組みます。	受診率向上のために、南出張所と連携し、国民健康保険加入者に、受診勧奨を実施	国民健康保険加入者へ受診勧奨チラシの配布数	-	-	-	850枚	480枚	・南出張所と連携し、国民健康保険加入者に、受診勧奨。手続きの待合時に読んでもらう、受診勧奨チラシを作成し配布する <参考> (PRシール付リーフレット配布数) R1年度:719 R2年度:980	・南出張所と連携し、国民健康保険加入者に、受診勧奨チラシを配布し、受診勧奨を実施した。(480世帯に配布) ・南出張所で国保の新規加入者全員にチラシ配布をしたが、今年度は例年と比較し出張所での手続者が少なく、目標数は達成できなかった。	未達成
3		子育ての不安、負担の軽減を図るため、学習機会の提供や仲間づくりを支援するとともに、児童虐待防止に向け、関係機関と協働で啓発活動を行います。	・児童虐待防止に向け、関係機関と連携協力し、ケースそれぞれに適した支援内容を検討します。 ・関係機関との会議や検討会の他、所内でも定期的に個別ケースの検討会を実施します。子育ての不安、負担の軽減を図るために事例検討会を開催します。	特定妊婦への支援方法の検討及びモニタリングの実施回数 母子のケース検討会の実施	-	-	-	特定妊婦の検討会 12回 ケース検討会 5回	検討会 12回 ケース検討会 5回	・毎月1回、特定妊婦の支援方針及びモニタリングを実施。 ・児童虐待や子育ての不安、負担軽減のためのより良い支援ができるようにセンター内でケース検討会を開催。	・計画どおり、12回の検討会、5回のケース検討会を実施した。	達成
4		市民の視点で業務改善を推進し、市民サービスの向上に取り組みます。	窓口申請や相談に関する改善を実施し支援の質を向上	OJTによる研修会の開催 困難ケースの検討会実施数	研修会 5回	研修会 8回 検討会 7回	研修会 8回 検討会 7回	研修会 8回 検討会 7回	研修会 8回 検討会 7回	・主要な窓口業務についてOJTで研修を行い係員が迅速・正確に窓口対応ができるようになる。 ・相談来所者が適切な支援に繋がるように検討会を行う。	・計画どおり、窓口業務の研修会8回、検討会7回を実施した。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>誰もが住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らせる地域づくりを目指して、引き続き地域住民が主体となった支え合い・助け合い活動を支援します。</p> <p>高齢者をはじめ誰もが事前に自らが意思表示する医療やケアを人生の最期まで受けられ安心して暮らし続けられるため、関係機関と協働し、地域の茶の間等で啓発を実施します。</p> <p>成人・高齢者の健康づくりに関しては、積極的に健診を受診し健康管理できるように様々な場面で啓発・勧奨し受診率の向上を図ります。</p> <p>また、南出張所と連携し、国民健康保険加入者に対する受診勧奨を重点的に取り組みます。</p> <p>出生数が多く、転勤族で支援者がいない方が多い地域であり、子育て支援は重要です。子育ての不安、負担の軽減を図るため、支援を必要とする妊産婦、母子へのケース検討を実施し、職員の子育て支援の資質向上に取り組みます。</p> <p>窓口業務や相談、支援の質を向上させるために研修会や検討会を行います。</p>	<p>「区づくり事業「はなそう・つなごう・あなたの想い終活きっかけづくり事業」は、区民啓発として、地域別人生会議を管内の4か所の地域の茶の間で実施しました。参加者からは、「今まで考えたことがなかったが、これから少しずつ家族で話し合いたい」という感想も聞かれ、理解度の目標も達成できました。来年度も、作成した啓発用リーフレット、活用の手引きを使い、継続して地域の茶の間等で啓発に取り組みます。</p> <p>健康寿命延伸の取り組みは、南出張所と連携し、国保新規加入者へ受診勧奨チラシを配布しました。南出張所での国保加入の手続きをした人を見込み数を下回ったため、目標数は達成できませんでしたが、R1～2年度のPRシールと比較し、チラシをみて受診券を発行にセンターに来所した人数は増加しました。来年度も引き続き、南出張所と連携し国保新規加入者の受診勧奨に取り組みます。</p> <p>子育ての不安、負担の軽減を図るため、支援を必要とする妊産婦、母子へのケース検討を実施し、職員の子育て支援の資質向上を図りました。</p> <p>市内で最も窓口件数の多い地域保健福祉センターであるため、幅広い窓口申請及び相談に対応できるように研修会やケース検討会を実施しました。引き続き、市民視点でサービス向上できるように研修会を継続していきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 中央地域保健福祉センター(025-266-5172)

年度	令和3年度	※中央地域保健福祉センターは令和3年12月で廃止となり、職員は中央区健康福祉課に異動しました。	
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	中央地域保健福祉センター
組織の目的	一人ひとりがお互いに支えあい・助け合い、誰もが安心して心豊かに暮らせる地域づくりを推進します。		

作成日	令和3年4月1日
修正日	
評価日	令和4年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標	R3結果			補足・参考指標
1		だれもがいつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるよう、高齢者世帯や子育て世代、障がいのある方など支援が必要な方に対して、地域が一体となって支え合い、共に生きていける環境づくりを進めます。	「話そう・つなごう・あなたの想い終活きっかけ作り事業」 ・もしもの時の医療やケアを元気な時から考え繰り返し話し合うことの大切さについて区民へ周知するため、茶の間等で人生会議を実施します。	意思表示の重要性について理解した人の割合	-	-	98%	85%	100%	・地域別人生会議をセンター管内で2回	・地域の茶の間等で人生会議を4会場計画し3会場で実施した。 地域別人生会議3か所実施、55人参加	達成
2		健康寿命延伸にむけて、特定健診の受診率の向上(全市目標受診率:53%、中央区のR1受診率:35.5%)及び糖尿病予防に取り組めます。	・管内の小中学校の養護教諭と連携し、生徒の保護者を対象に、特定健診及びがん検診のPRを実施します。	・保護者に対し、中央区の健康課題の情報提供と特定健診及びがん検診のPRを実施した中学校数	1	4	6	5	5	・公立中学校:4、附属中学校:1 ・寄居中学校の保護者へ健診状況のアンケートを追加して実施。 ・小中学校の養護教諭との連絡会を開催。(年1回) ・今年度は区全体で学校を通じ小学6年生保護者へ受診勧奨を実施することから、中学校数を目標値とした。	・管内全公立中学校4校、附属中学校1校で保護者向けに健診周知を実施した。 ・寄居中では全学年保護者241人にアンケートを実施、191人の回答あり(79.2%)。結果は保護者へ紙面配布し、保険年金課にも伝え受診しやすい体制づくりを提案した。 ・養護教諭との連絡会議はR4.2月書面開催で実施した。	達成
3		子育ての不安、負担の軽減を図るため、学習機会の提供や仲間づくりを支援するとともに、児童虐待防止に向け、関係機関と協働で啓発活動を行います。	・管内の保育園幼稚園等や小児科のある医療機関に訪問し、区の健診や相談、療育体制、児童虐待防止について説明します。	・訪問を実施した機関数	-	-	-	30	36	・保育園:9、認定こども園:10、地域型保育事業:2、幼稚園:2、認可外:5、他:1 ・小児科のある診療所:6	・管内全保育園等30か所、小児科医療機関6か所、計36か所に訪問等を実施した。	達成
4		市民の視点で業務改善を推進し、市民サービスの向上に取り組めます。	・窓口申請や保健福祉業務に関する改善を実施します。	・改善実践数	2	3	3	3	4	・センター会議等で改善策を話し合い実施する。	以下4項目で実施した。 ①申請関係(電話対応時の申請必要書類一覧表の作成) ②コロナ感染症関係(ワクチン接種の情報提供コーナーを新たに作成、換気の工夫) ③相談・訪問関係(教材、リーフレットの整理、掲示の工夫) ④移転関係(建物に大きく表示して周知、来所者に移転先のチラシを配布)	達成

取組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>地域の関係機関や住民と協働・連携し、誰もが住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らせる地域づくりに取り組みます。</p> <p>・もしもの時の医療やケアを前もって考え繰り返し話し合うことの大切さについて、地域の茶の間等機会をとり、人生会議を実施します。</p> <p>・健康寿命延伸をめざし、40～50歳世代へのアプローチをするため小中学校養護教諭等と連携し、保護者に対し特定健康診査やがん検診の受診勧奨や啓発を行います。あわせて、民協やコミ協、医療機関とも連携し、地域の健康課題の説明や受診勧奨を行います。</p> <p>・子育ての不安の軽減や児童虐待防止に向け、保育園幼稚園等や小児科のある医療機関に訪問し連携を強化していきます。</p> <p>・常に市民の視点に立ち、窓口申請や保健福祉相談業務の改善に取り組み、サービス向上に努めます。また、今年度は中央地域保健福祉センターが移転することから区民や関係機関への周知を丁寧に行います。</p>	<p>・区づくり事業「話そう・つなごう・あなたの想い終活きっかけ作り事業」の地域での人生会議は、コロナ禍で地域での集まりも縮小している中、3会場で実施しました。参加者の反応はよく理解度も全会場100%だったことから目標は達成しましたが、参加者総数は少なく、今後も地域で多くの人たちに人生会議について伝えていくことが必要と感じています。</p> <p>・管内の小中学校養護教諭と連携し保護者への健診の周知を実施しました。他にも民協やコミ協での健診勧奨や医療機関へも健診勧奨の依頼や健康課題の周知をしました。次年度も引き続き、学校をはじめ、地域の団体、医療機関等と連携しながら健診の受診をすすめ健康寿命延伸を目指します。</p> <p>・園訪問は例年実施しており今年度も管内全園に実施しました。小児科医療機関訪問は初めての試みでしたが、地域の小児科医師等と話しができて、それぞれ医療機関の特長を聞くことができ有意義でした。今後も地域の医療機関とつながりを持っていきます。</p> <p>・中央地域保健福祉センターの移転に際し、関係機関への連絡を実施し利用者には移転先のチラシを配布するなど、周知を丁寧に行いました。またコロナのワクチン等の情報がわかるよう掲示等の工夫や、他にも市民の視点に立ち改善に取り組みしました。</p>

組織目標管理シート

年度	令和3年度		
組織名(部)	中央区	組織名(準部・課・機関名)	保護課
組織の目的	市民生活の礎となる「安心・安全な暮らし」を最終的に保証する、セーフティネットとしての生活保護制度を適切に運営することを通して、被保護世帯の自立に向けた支援の充実強化を図ります。また、職場内に業務担当グループを編成することで、業務が適正かつ円滑に遂行できるよう、全職員一体となって取り組んでいます。		

問合せ先(電話番号)	025-223-7340
------------	--------------

作成日	R3.4.1
修正日	
評価日	R4.3.31

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標	R3結果			補足・参考指標
1		生活保護世帯の就労意欲の向上を図り、就労に結び付けていきます。	・生活保護受給者の事業への参加 ・就労支援相談員との連携 ・ハローワーク職員との連携	就労自立支援事業の参加者数(人)	244	229	180	200	225	・求職や増収を指導している受給者 令和元年度末 857人 令和2年度末 967人 ・事業参加者の67%が就労開始できるようハローワークと連携して取り組む ・目標は、新潟労働局も構成員となっている「生活保護受給者等就労自立促進事業運営協議会」の目標値と同じ	R4年3月末日現在、就労自立支援事業参加者は225人、そのうち就労を開始した方は184人で、就労開始の割合は81.8%でした。求人の方は新型コロナウイルス感染症の影響がみられますが、就労支援員やハローワークと連携して、事業への参加や就労開始につながるよう相談支援を行いました。	達成
				就労自立支援事業での支援対象者から就労を開始した人数(人)	124	158	123	134	184			
2		生活保護世帯(生活困窮者世帯及びひとり親世帯を含む)の中学生の学習習慣を定着させ、学力向上を図ります。	・「子ども勉強会」の開催 ・学習支援員による家庭訪問や個別相談の実施	子ども勉強会への出席率(%)	-	-	50	50	48	・平成27年度から生活困窮者世帯、平成30年度からひとり親世帯の生徒も参加 ・ボランティアの大学生と連携して運営するとともに、学習支援員が個別に相談するなどし、出席につながるよう支援 ・参加者の出席率 令和元年度 48% 令和2年度 50%	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催できない時期があり、学生ボランティアの参加も難しい状況でしたが、工夫しながら勉強会を開催し、目標値までわずかに届きませんでした。多くの子どもの参加につながりました。また学習支援員による家庭訪問や個別相談については、コロナウイルスが比較的落ち着いた時期に集中的に行い、実施回数目標まで達成できました。	一部未達成
				学習支援員による家庭訪問や個別相談の実施回数(回)	6	14	12	15	27			
3		生活保護世帯の適切な健康管理を行います。	・特定健診の受診率向上	40歳から64歳の保護受給者の特定健診受診率(%)	-	11.2	8.6	12	8.6	・特定健診の対象は40歳以上 ・そのうち受診率の低い64歳以下の受給者について重点的に受診勧奨 ・R3の64歳以下対象者 1,232人(参考)・受診率 令和元年度 11.2% 令和2年度 8.6%	R4年3月末日現在、新型コロナウイルス感染症の影響により受診率が落ち込み、昨年度に引き続き目標に達しませんでした。R4年3月末日、40歳以上の受給者あてに受診勧奨のチラシを送付し、今後の受診につなげていきます。	未達成
4		生活保護を必要とする市民の生活保障を図ります。	・事務処理の適正化・効率化	改善件数	-	-	14	10	13	事務処理の適正化及び効率化を目指し、事務改善グループを中心に業務改善を実施	事務改善グループを中心に意見を出し合い、改善に努めた結果、目標を上回る13件の改善を実施することができました。内容も事務の効率化や業務全体の負担軽減につながる効果的なものとなりました。	達成
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
生活保護世帯に対し、就労による経済的自立(就労自立)のみならず、自分自身で健康・生活管理を行うなど日常生活において自立した生活を送ること(日常生活自立)、地域社会の一員として充実した生活を送ること(社会生活自立)などの自立を支援し、生活保護世帯の抱える多様な課題に対応できるよう、関係機関とも連携しながら、積極的に取り組んでいます。	子ども勉強会・特定健診の受診勧奨に関する目標は、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響で実施困難な時期があり、再開後には感染防止策など工夫しながら取り組みましたが、一部目標達成には至りませんでした。就労支援については、就労支援員やハローワークとの連携が上手くいき、無事に目標を達成することができました。今後も様々な工夫をしながら、それぞれの事業を実施し、保護受給者の抱える課題に対応できるよう取り組みます。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-223-7403(建設課)

年度	令和3年度		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	建設課
組織の目的	様々な施設が集積する拠点として都市機能の向上を図るとともに、利用者の視点に立った、利便性が高く、安心・安全に暮らせる、快適で住みよい賑わいあふれるまちづくりを推進します。		

作成日	令和3年4月1日
修正日	
評価日	令和4年4月1日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標	R3結果			補足・参考指標
1		西海岸公園における松くい虫被害の収束を図るため、対策に取り組みます。	・被害木の伐倒燻蒸の実施 ・薬剤の空中散布及び地上散布の実施	前年度被害木調査に対して、5月末で処理する本数の割合(%)	-	-	100	100	100	・空中散布 2回実施	6月末までに被害確認数1,106本について全数駆除することができました。	達成
2		西海岸公園の海岸林がもつ防風機能などの役割や重要性を周知し、海浜植物園周辺に区民と協働でクロマツの植樹を行います。	・植栽計画作成 全体N=4900本 ・植栽本数 N=500本 ・協議会の実施	植樹・除伐の参加人数 クロマツの植樹	-	参加人数 100人	参加人数 220人	参加人数 200人	参加人数 299人	・モデルエリアとして事業実施した市営汐見台住宅跡地の継続事業 ・協議会の実施を通じて、事業内容等の検討を行い、参加人数の向上を図る。	当初予定どおり500本のクロマツを植栽しました。また、浜浦小学校の総合学習にも取り入れてもらい、小学生を含めた、多数の地域の方と協働で植樹することができました。	達成
				クロマツ植栽 800本	クロマツ植栽 900本	クロマツ植栽 830本	クロマツ植栽 500本	クロマツ植栽 500本				
3		速やかなサービス提供と事業効果の早期発現を図ります。	・工事の早期発注 ・委託業務の早期発注	第2四半期発注率(%)	90	89	89	80	86	・当初箇所付事業の発注率	発注についての進捗状況の確認や課題の整理を行い、課内で情報共有を図ったことで、目標を達成することができました。	達成
4		安心・安全で快適な道路空間を確保するため、駐輪マナーの向上・路上駐輪の削減を図ります。	・啓発活動の実施 ・放置自転車の撤去	新潟駅前前の放置禁止区域内の違反自転車数(警告台数)	-	-	1,436	1,990	685	・過去3年間の違反自転車数(警告台数)の平均値(2,097台)の5%削減	駐輪マナーに関して啓発活動を行い、コロナ禍の影響もありましたが、警告台数を削減することができました。	達成
5		職員の専門知識、技術力を高めます。	・課内勉強会の実施	開催回数(回)	-	10	8	8	11		勉強会を開催することにより、課内の情報共有及び職員の技術力の向上を図りました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>西海岸公園の松林では、松くい虫被害が顕著になっています。この松林は、防風・防砂機能を有し、区民の生活を守る重要な役割を担っており、このまま被害が進行すると、松林の消失につながるおそれがあることから、松くい虫対策に取り組む被害の収束を図ります。</p> <p>また、西海岸公園の海岸林のもつ防風機能などの役割や重要性を市民に周知し、海浜植物園周辺に区民と協働でクロマツの植樹及び密度管理(除伐)を行い、海岸林の保全に努めています。</p> <p>工事・委託などの発注について早期に発注することにより、速やかなサービス提供と事業効果の早期発現を図ります。</p> <p>駐輪対策については、安心・安全で快適な道路空間を確保するため自転車利用者に対し自転車駐車場への誘導を行い、駐輪マナーの向上・路上駐輪の削減を図ります。</p> <p>課内で勉強会等を開催し、職員の専門知識・技術力を高め、幅広い視点をもって業務を行うことにより、区民サービスを向上させます。</p>	<p>西海岸公園周辺の松くい虫被害対策として、被害木の伐倒燻蒸、薬剤散布、樹幹注入に取り組み、被害木の数は減少しています。引き続き、松くい虫対策に取り組む、被害が早期に収束を図るとともに、被害が甚大な地区で植林を進めます。</p> <p>また、中央区の特徴である西海岸公園の海岸林について地域や団体・有識者との協働しクロマツの植栽を行い、防風対策などの必要性・重要性の理解を深めました。引き続き、海岸林の保全に努めています。</p> <p>工事・委託などの発注については当初の目標を達成することができました。次年度以降も引き続き早期の発注について取り組んでいきます。</p> <p>駐輪対策については、駐輪マナーに関して啓発活動を行いました。コロナ禍の影響もありましたが、放置禁止区域内の違反自転車台数が減少しました。引き続き、駐輪マナーの向上、路上駐輪の削減に努めます。</p> <p>区民サービスの向上につながるよう、課内勉強会を開催し、課内での情報共有や職員の能力向上を図りました。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 総務課(025-223-7086)

年度	令和3年度		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	総務課
組織の目的	災害に強い地域づくりを進めるため、災害時に市民一人ひとりが適切な避難行動をとれるような仕組みづくり、コミュニケーションづくりを支援します。 中央区サービス憲章に基づき、わかりやすく、親しみやすい区役所を目指して改善に取り組み、サービスの向上を図ります。 まちなかの活性化に資するため、中央区役所(NEXT21アトリウム)を活用したPRを行います。		

作成日	R3.4.1
修正日	
評価日	R4.3.31

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価		
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標				R3結果	
1		避難所運営訓練を通じ、中学生、地域、防災士の連携を強化します。	・中央区ハイパージュニアレスキュー訓練	(R2まで)参加した中学生へのアンケートで防災意識を調査し、「災害時に率先して行動する」を選択する割合。 (R3から)「防災資機材の取り扱いを他の人に説明できる」を選択する割合	95%	95%	97%		90%	90.1%	令和2年度より公募開催から学校個別開催へ変更 令和2年度 3校で実施 令和3年度 5校で実施予定	白新中(6/18) 63/68 92.6% 山潟中(6/28) 117/131 89.3% 鳥屋野中(7/8・9) 216/239 90.4% 関屋中(11/22) 113/133 85.0% 寄居中(12/14) 75/77 97.4% 計 584/648 90.1%	達成
2		中央区サービス憲章を踏まえた業務改善の取り組みを推進します。	・お客様満足度向上を見据えた中央区オリジナル研修の実施	研修受講者アンケートで「理解できた」「よく理解できた」と回答した人数/研修受講者数(実績は「中央区への理解が深まった職員の割合」)		97%	100%	97%	90%	90%	【研修テーマ】 ・中央区新任職員研修 ・契約事務研修 ・苦情対応能力向上研修	中央区オリジナル接遇研修では、「参考になった」「非常に参考になった」との回答が100%であり、受講者の感想も良好でした。その他、契約事務研修、新任職員研修、まちあるき研修、区長随行研修を実施し、全体の理解度は90%となりました。	一部未達成
3		まちなかを活性化させるため、古町のにぎわい創出に取り組みます。	・地域や民間の方々の情報発信の場としてNEXT21アトリウムを活用してもらうためのPRや催事を実施	・アンケート調査によるイベント満足度 ・イベント開催数			(-) 5回	80% 5回	(-) 3回	(-) 3回	・医療従事者への感謝と応援ライトアップ ・ピアノ演奏 ・写真撮影ポイント(フラワースポット)設置	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いたことにより、年間を通じて集客型のイベント実施ができずアンケート収集に至りませんでした。 ・アトリウム内のライトアップを実施したほか、一時的に感染者数が減少した機会を捉えて、ピアノ演奏を実施しました。	一部未達成
4													
5													

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>中学生を中心とした中央区ハイパージュニアレスキュー訓練を行う際に、防災士や地域の防災リーダーに指導役として参加してもらい、それぞれが地域の主体となって防災に取り組むことができる体制づくりを進めます。さらに多くの生徒に受講してもらうため、今年度は個別の中学校を会場としてその学校のカリキュラムの一環で実施する方式とするとともに、事業の達成度を「防災資機材の取扱いを他の人に説明できる」中学生参加者の割合を指標とします。</p> <p>中央区役所職員が一体としてまた継続して改善に取り組めるように、職員の中央区への理解を深め、さらには職員間の連携を進められるような研修を実施します。</p> <p>人口減少が懸念されるまちなかの活性化や交流人口の拡大を図るため、中央区役所(NEXT21アトリウム)を活用したイベントを実施し、にぎわいを創出します。</p>	<p>各種事業の開催にあたっては、コロナウイルス感染拡大防止のための対策を徹底しながら事業の目的を達成するように努めました。</p> <p>・ハイパージュニアレスキュー訓練は、中学校や防災士の協力をいただきながら、3回の予定を5回実施することができました。中学生はどの会場でも高い関心を持って訓練に参加しており、地域における防災の担い手となる中学生、地域、防災士の連携を図るきっかけとなりました。</p> <p>・オリジナル接遇研修について、3か月後アンケートでは、接客の際に自分の表情や態度に気をつけている人数が受講前の2.9倍となり、職員の接遇態度の改善に効果が認められました。また、中央区新任職員向け研修においては、区役所職員の業務の基礎となる区への理解を深めることができたことから、これらの研修を引き続き実施していきます。</p> <p>・まちなかの活性化を目的にしたNEXT21アトリウムでのイベント開催は、集客型から展示型のイベントを中心に行いました。医療従事者への感謝と応援を表すライトアップや、新生活や人生の節目を迎える市民を応援するメッセージも兼ねた写真撮影スポットの開設など、訪れる人に共感してもらえるようなメッセージ性の強い情報発信に努めました。今後はアトリウム以外の古町地区でも活動し、交流人口の拡大に努めます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-241-4111(東出張所)

年度	令和3年度		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	東出張所
組織の目的	出張所では、市民の皆さんの日常生活に密接に関わる行政サービスを提供していますが、丁寧に親切な対応をモットーに、迅速で間違いのない窓口対応を行うとともに地域コミュニティの支援に努めます。		

作成日	令和3年4月8日
修正日	
評価日	令和4年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標			R3結果	補足・参考指標
1		窓口対応における市民満足度の向上を図ります。	接遇の質の向上に努めます。 ・研修の参加 ・係内での勉強会の開催	市民アンケート満足度調査の平均点	4.46	4.55	4.50	4.5	4.43	・5点満点の平均点	昨年度のアンケート結果を分析、対策を行うことで、高評価を維持することができた。	達成
2		事務処理能力の向上を図ります。	窓口事務や内部事務の改善に取り組みます。 ・専門研修への参加 ・内部事務の見直し	各係1件以上の窓口業務にかかる改善の実施(件数)	4	3	3	3	3	・3つのグループがそれぞれ1件以上の主な改善を実施	3件の改善を実施。 (地域G)現金取扱リスク回避のため、釣銭資金を常時金庫設置から、朝準備時にレジへ設置に変更。 (市民G)個人情報保護の観点から、来所者を氏名ではなく番号で呼ぶことに変更。 (厚生G)環境保護の観点から、印刷用紙を可能な限り裏面活用し、使用量削減。	達成
3		地域コミュニティの支援を行います。	地域の会合などに積極的に参加し、情報の収集や支援に努めます。 ・総会などへの参加 ・江東コミ協連絡会の支援	各地域団体の行事等への参加(件数)	年29件	年26件	年1件	年25件	年6件	・江東コミ協連絡会 ・万代地域コミ協、南万代地区コミ協、沼垂小学校区コミ協、長嶺地域コミ協 ・新潟まつり江東地区実行委員会 ・東新潟コセン運営委 ほか	6件に参加。 積極的な参加を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防対策により地域行事等が中止や書面開催となったため、目標未達成となった。	未達成
4		地域の問題解決を支援します	随時寄せられる相談・要望について的確に対応する	地域からの相談・要望等で相談者が納得していただいたもの(件数)	年14件	年14件	年18件	年14件	年17件	・各コミ協等からの相談・要望 ・困って窓口相談に来られる方への対応	17件の地域からの要望や相談があり、関係部署に取り次ぐなど、丁寧に適切に対応した。	達成
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
出張所は市民サービス窓口の最前線であることから、昨年度に統合した市民・厚生グループ内のさらなる連携、情報共有に努めるほか、各種の研修会等へ職員を積極的に参加させるなど、なお一層のスキルアップと接遇の向上を図ります。 また、コロナ禍で先が見通せないものの、コミ協をはじめとする各団体の会合や親睦会等に積極的に参加することによって、地域の実情の把握や意見交換等を通じ、信頼関係の構築に努め、地域にとって身近で頼れる出張所となるよう取り組んでいきます。	・日々変化する情報を出張所全体で共有することに努め、グループ内外で連携を図りました。また、各種研修会等へ職員を積極的に参加させ、参加職員は知識の伝達を行い、出張所全体のスキルアップを図りました。今後も出張所全体で連携及び職員のスキルアップを図り、市民サービスの向上に努めます。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、地域のイベントや会合等が中止となりましたが、個々に来所される地域の方からの相談や要望を丁寧に聞き取り、関係部署へ取り次ぐなど適切に対応しました。今後も地域にとって身近で頼れる出張所となるよう努めます。 ・出張所業務においては、個人情報の流失、収納金の紛失など様々なリスクが想定されます。全職員がリスク発生の原因とその対応策を理解し、常に意識して業務を遂行できるよう、引き続き努めてまいります。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-283-0406(南出張所)

年度	令和3年度		
組織名(部)	中央区	組織名(準部・課・機関名)	南出張所
組織の目的	市民の身近な窓口として、正確、親切、丁寧なサービスを提供するとともに、地域コミュニティの醸成に寄与します。		

作成日	R3.4.1
修正日	
評価日	R4.3.31

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標				R3結果
1		身近な行政の窓口として市民満足度を高めます。	・満足度調査(窓口アンケート)	満足度調査の平均点(点)	4.2	4.4	4.4	4.5	4.5	・5点満点の平均点 ・窓口対応向上や事務改善に活かしていきます。	窓口アンケートを11/16から11/26まで実施しました。満足度の平均値は4.5で目標を達成することができました。市民の皆様により満足していただけるよう、アンケートに記載されたご意見等を参考に事務改善に努めます。	達成
2		地元との信頼関係を深め、地域コミュニティの醸成に寄与します。	・地域団体が行う会議や行事への参加 ・地区コミュニティ協議会連絡会の開催 ・市、区が共催する行事等への参加	会議や行事等の参加または開催した回数(回)	50	48	33	40	35	・校区コミュニティ協議会 7(連絡会 1) ・地区民生委員児童委員協議会 7(連絡会 1) ・消防団中央方面隊分団 2 ・地区PTA連絡会 1	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各協議会の総会や懇談会が中止されたことから、参加する会議や行事の件数が減少し、目標には到達しませんでした。	未達成
3		窓口事務や内部事務の簡便性・適法性・正確性・効率性を高めます。	・窓口事務、内部事務の点検と改善	窓口事務、内部事務の改善件数(件)	11	10	12	12	31	・所内の窓口数 3(①地域 ②市民 ③厚生)	窓口アンケートでいただいたご意見や「業務改善活動」水平展開を参考に、窓口環境の整備を積極的に行いました。また、お客様の立場に立って、見やすくわかりやすい掲示や記載例等の作成に努めました。	達成
4		職員の専門能力を高めます。	・専門研修 ・区の主催する研修 ・他出張所との交流研修	職員1人当たりの研修受講回数(回)	5.7	3.8	3.7	4.0	4.7	・研修対象職員数 20(正職員 13、会計年度7)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自席での研修が増えましたが、職員で協力しながら参加することができました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>住民から愛され信頼される職場づくりを目指し、市民の目線に立った業務運営に取り組めます。そのため、出張所の基幹業務である窓口での各種手続きで市民満足度を向上させること、及び地域活動の活性化に資することを目標とし、日常的な事務改善及び職員の専門能力の向上に取り組めます。</p>	<p>窓口での満足度調査では、目標を達成することができました。また、記載いただいたご意見については、すぐに改善策を検討し実施しました。これからも、市民の皆様により満足していただけるよう、窓口の改善を図ります。地域との関わりについては、コロナ禍で参加する会議や行事の数は減りましたが、できるだけ参加し、地域との信頼関係づくりに努めました。業務改善については、窓口業務に係る改善が多く実施されました。わかりやすい手続きでお客様に気持ちよく過ごしていただけるよう、これからも心配りを忘れずに職員一人一人が親切・丁寧を心掛けて参ります。人材育成についてはスムーズな窓口対応に役立つよう、できるだけ研修機会を確保し、積極的に専門研修や交流研修に参加しました。今後とも、市民の目線にたった業務改善や職員の資質向上に努め、市民満足度の向上を目指します。</p>



令和4年度 中央区組織目標と主な取り組み

区ビジョン基本方針に掲げる「目指す区のすがた」に基づき、各課主要事業及び特色ある区づくり事業に取り組みます。

I にいがた2kmの取り組みと連携しながら、魅力的で活力あふれる拠点のまちを目指します。



● まちなか発にぎわいプロジェクト

各種PRイベントや啓発を兼ねたパネル展示などによる情報発信（NEXT21アトリウムからエリアを拡大）

まちづくり



II 安心してすこやかに暮らせるまちを目指します。

● しもまち地域活性化事業

魅力の発掘・配信、人の交流・流入を促進する地域との協働企画やイベントの実施



● レットライ！ 糖尿病予防事業

地域の集まり等の小集団や若い年代、新しい層への特定健診受診勧奨・糖尿病予防の普及啓発



● みんなでつながるにっこにこ子育て応援事業

子育て支援ネットワーク会議及び産科との連携会議の開催、相談・仲間づくりの場の提供



● 赤ちゃん誕生お祝い会支援事業

地域主体で開催する「赤ちゃん誕生お祝い会」の支援（経費助成、保健師派遣など）



● 安全な地域づくり事業

避難所運営スキル向上講習会、防災資機材整備助成、避難行動要支援者関係づくり、特殊詐欺被害防止、自転車運転マナー向上 など



● 山潟地域コミュニティ施設整備事業

山潟中学校区のサービス機能充足のため、コミュニティ施設を新規整備（予定）R4：基本・実施設計・準備工事、R5：本体工事・供用開始



● 生活保護受給者の特定健診受診率向上

生活保護世帯の適切な健康管理



● 地域にとって身近で頼れる出張所

コミ協をはじめとする各団体の会合などに積極的に参加
地域の実情や意見交換を通じた地域コミュニティへの支援



III 水と緑が調和したやすらぎのあるまちを目指します。

● 鳥屋野潟環境啓発事業「とやの物語」

鳥屋野潟一斉清掃、学校への出前講座・体験学習の実施、映像教材の作製 など



● 区民協働森づくり事業

クロマツの密度管理、海浜植物園の植栽など



● 松くい虫防除事業

松くい虫による被害を収束させるため、継続的な対策（無人ヘリでの薬剤空中散布、被害木の伐倒・駆除、被害跡地への植栽など）



IV 未来につなぐ歴史・文化のまちを目指します。



● 地域のお宝！再発見事業

まち歩き（えんでこ）、フォトコンテスト、中央区の魅力を伝える動画の作成など



● みなとまち新潟伝統的産業PR事業

新潟漆器利用促進事業、古町芸妓振興事業（若い人の参加促進）、発酵食PR事業 まちづくり消費・生産

